

2025年度

学校名 横浜市立日野南小学校

対象学年 5年

① 学習指導案

プログラム	No.11 「 まちづくり景観プランナーになろう 」
単元名 (全70時間 )	「まちを 笑顔に 花やかに SD5s(エスディーファイブス)!! ～笑顔の花咲け フラワーズパーティー～」
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・アートでまちの活性化に取り組む方々との出会いや、まちの人たちの日野南のまちへの思いや願いを知ること、様々な立場で尽力している人の存在を知り、まちの人たちの温かさに気付く</li><li>・喜びや笑顔を増やしたいという目標の実現に向けて、課題を設定し、その解決方法、順序などの見通しを立てる。</li><li>・ウォールアートには、願いや思いを自由に表現することができ、見る人に元気や癒しを届ける魅力がある。自分たちが創るアートが未来に残っていくことに責任をもって取り組み、まちの人たちや他学年とよりよくなかかわろうとする。</li></ul>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1 今年の総合的な学習の時間のテーマを決める。</li><li>2 まちや学校を花やかにするために 具体的な活動内容を決め、必要な情報を整理する。</li><li>3 花やかイベントを計画し、全校をまきこんで笑顔の花咲くウォールアート・階段アートを描く。</li><li>4 リサイクルフラワー・花植えイベントを通して地域の方と交流する。</li><li>5 今までかかわって支えてくださった方へ感謝の気持ちを伝える。</li></ol>
参考資料 準備品 実施場所等	横浜西口ウォールアート見学で横浜エリアマネジメントへの取材 エコフラワープロジェクト参加 エコフラワー作成のための材料 ウォールアートでのスタンプやステンシル作成のための材料 花植えプロジェクトのための苗や肥料など

学習の流れ

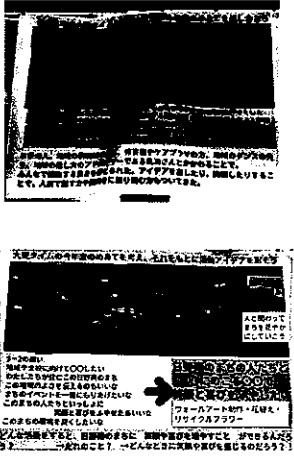
時間	○学習活動	●教師の指導	☆評価
5	<p>○これまでの総合的な学習の時間で身に付けた力をふりかえり、これからどんな力を身につけ学びたいか考えよう。</p> <p>○今もこれからも住みやすいまちにしていくために、まちの人たちの笑顔を増やす活動を考え、計画を立てよう。</p>	<p>●テーマを決めるときに、こどもたちのやりたいことが自分たちの身につけたい力とリンクしているかどうか、みんなでウェビングすることにより、整理する。</p> <p>●ウェビングで広がったもの、3つの大事なクラスで決めた目的を達成できるかが決める際の視点となる。</p> <p>①SDGsの学びを生かす②日野南のまちに今もこれからも住みやすくなるように③人と関わり合える活動か</p>	<p>【思考・判断】</p> <p>☆日野南小の門周りを華やかに(花やかに)するために出てきた課題に対して、どうしたら解決できるかを考え、試行錯誤しながら課題解決を仲間と協働して取り組む。</p>
10	<p>○学校の門周りを明るく華やか(花やか)にする活動を通して、まちの景観をよくしていくことの具体的な内容を考えよう。</p> <p>○ウォールアートを見に行き、ウォールアートのよさ、意義、与えるものを感じよう。</p> <p>ウォールアートを計画した西口エリアマネジメントの方にインタビューしよう。</p> <p>○みんなの思いや願いがあられたデザインにするために、全校や地域の方に日野南小のよさやこれからの日野南小をどんな小学校にしたいか思いや願いを取材しよう。</p>	<p>●学校周りを散策し、気づいたことを出し合い、具体的な活動をひきだす。</p> <p>●実際に西口にあるウォールアート、地下街にあるウォールアートを見学することで、ウォールアートがあることでどんなよさや効果があるかを実体験させることで意欲を高める。</p> <p>●ウォールアートを計画した会社の方と出会わせることで、思いや願いを知ることができるようにする。</p> <p>●地域の方を招待し、日野南のまちのよさについて意見交換会を行い、門周りのウォールアートテーマを決定する。</p>	<p>【知識・理解】</p> <p>☆まちの一員として、今自分たちにできることはどんなことか考え、よりよいまちづくりのために日野南のまちの人たちとよりよくなるうとしている。</p>





<p>40</p> <p>○ウォールアーティストのプロに相談して、デザイン案を考えよう。</p> <p>○イベントの準備や計画をしよう。リハーサルをして、改善点を見つけイベントを成功させよう。</p> <p>○ デザイン案を全校に見てもらい、決定しよう。</p> <p>○塗り方をプロに学びながら、他学年や地域の方と協働してウォールアートや苗植えに取り組みよう</p> <p>8</p> <p>○地域合同お楽しみ会でリサイクルフラワーショップを開こう</p> <p>6</p> <p>○お世話になった方々にこの活動で学んだことを振り返り、感謝の気持ちを伝えよう。</p> <p>1</p> <p>○学習をふりかえろう</p>	<p>●横浜在住のウォールアートペインターと出会わせる。 【子どもがインターネットで検索し、思いや願いを伝えて来校が決定しました】</p> <p>●場の設定、考えられる困難を想像するよう声掛けする。必要に応じてプロに相談できるよう、塗装組合の方にも子どもたちの相談にのってもらえるように事前をお願いをする。</p> <p>●2日間で塗装を終わらせるために、デザインを子どもたちと練り直すときにも、子どもたちのアイデアに価値づけをし、臨機応変に対応できたことにも価値づけをする。</p> <p>●地域の子どもやお年寄りの方にもつたわるか、確認する。 説明の仕方・場の設定・準備物</p> <p>●お世話になった方々に思いを伝えるためにどんなことをするか考え、プロジェクトごとに計画をすすめる。</p> <p>●自分たちの身についた力を考えさせ、クラス全体で共有する。好みについた力を6年生でどう生かしたいかなど、次学年への夢をもたせられるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>☆アートでまちの活性化に取り組む人たちやよりよいまちにするために尽力している人たちがいるということに気付く。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>☆相手意識をもったイベントの計画の仕方を考える。 ☆目的に向かってアイデアを出し合い、仲間と協力して企画し、計画や準備に取り組む。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>☆まちの人たちや全校児童との交流を通して自分たちもその地域の一員であることに気付く。</p> <p>【主体的な態度】</p> <p>☆まちや学校の人たちとのイベントを計画、実践を通して感じる達成感から、自分への成長や喜びに気付き、地域の一員として自分にできることを考えて今後もまちと関わっていこうとする。</p>
--	--	---

<留意点>インタビューさせていただく際には、事前にインタビュー内容やねらいを相手の方に伝えておく。

② 事業実施報告書詳細

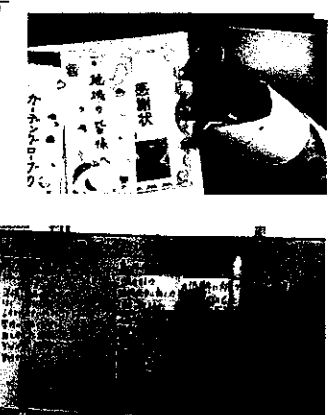
学校名 横浜市立日野南小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
5	教室	<p>○これまでの総合的な学習の時間で身に付けた力をふりかえり、これからどんな力を身につけ学びたいか考えよう。</p> <p>○今もこれからも住みやすいまちにしていきたいために、まちの人たちの笑顔を増やす活動を考え、計画を立てよう。</p>		<p>・昨年度、学校全体をまきこんでライブやショーをすることができた成功体験をもとに、さらにもっとたくさんの人のかかわりを求めている児童、苦手なことを好きになりたいという願いを持っている児童が多かった。役割や挑戦、人前に出ることを通して成長したいという願いができた。</p>

<p>10</p>	<p>教室</p> <p>横浜西 口アー トプロ ジェク ト</p> <p>図書室</p>	<p>○学校の門周りを明るくはなやか(花やか)にする活動を通して、まちの景観をよくしていくことの具体内容を考えよう。</p> <p>○ウォールアートを見に行き、ウォールアートのよさ、意義、与えるものを感じよう。</p> <p>ウォールアートを計画した西口エリアマネジメントの方にインタビューしよう。</p> <p>○みんなの思いや願いがあふれたデザインにするために、全校のみんなや地域の方に日野南小のよさやこれからの日野南小をどんな小学校にしたいか思いや願いを取材しよう。</p>	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にまちを歩くことで、日野南小の門周りが寂しい。日野南小学校ということもわからない東門階段。コンクリートは黒ずみ、なんだか暗い感じがする。まちのひとたちが歩く道から見える正門前の壁を明るくしたいという意見が多く出てきた。花を植えたり、壁に花を描きたいという願い、憩いのスペースになるような場所づくりが具体内容となっていった。</li> <li>・実際にアートを見学に行くことで、計画した方の願いや、ウォールアートの華やかさを肌で感じていた。</li> </ul> <p>→門周りを春夏秋冬の花でデザインしたいという願いがわいていた。</p>
-----------	---	--	--	---



40	教室          正門前 と階段	<p>○ウォールアーティストのプロに相談して、デザイン案を考えよう。</p> <p>○イベントの準備や計画をしよう。リハーサルをして、改善点を見つけイベントを成功させよう。</p> <p>○デザイン案を全校に見てもらい、決定しよう。</p> <p>○塗り方をプロに学びながら、他学年や地域の方と協働してウォールアートや苗植えに取り組もう</p>	    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロに相談することで、計画の具体が見えてきた。</li> <li>・実際に塗る姿を見ることで、塗り方のコツや準備段階で大事なことを教えてもらい、リハーサルで必要な準備を考えることができた。</li> <li>・当日の様々な困難も、臨機応変に対応できたところがよかった。地域の方の声があり、変更があったことに対して、塗装会社のボランティアの方が、実際の仕事でもそういうことがあるということを子どもたちに話してくださったことで、学びの機会となった。</li> </ul>
8	体育館	<p>○地域合同お楽しみ会でリサイクルフラワーショップを開こう</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教えることで、地域の方と自然に話すことができた子が多かった。教え終わったあとに、「ありがとう」と笑顔で言ってもらったことで、自分に自信を持てるようになったと振り返っていた。</li> <li>・プレイメントでの反省点を生かすことができていた。</li> </ul>

7	教室	<p>○お世話になった方々にこの活動で学んだことを振り返り、感謝の気持ちを伝えよう。</p> <p>○学習をふりかえろう</p>		<p>・挑戦する力や自分たちで進める力が身についた。たくさんの方と関わることで協力したり臨機応変に動いたりする力が高まった。この力を6年生で発揮したい。</p>
---	----	--	--	--

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>やったことのないウォールアートでは不安要素が毎回の話し合いで出てきた。不安要素を解消するためにそれぞれ分担し、それぞれのグループで調査、問題解決して、共有することで話し合いを自分たちでつくることを意識させてきた。どうしても聞きたいことはプロに相談できるように、関係づくりをしてきた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>地域の方の景観にもなるため、地域の方に理解してもらえるようなデザインにすることをもっと意識付けするべきだった。今回、地域の方の声があり、色を少し変更したこともあった。しかし、そのことがあって、子どもたちは事前にアンケートをしっかりととったり、理解してもらったりしてから活動を始める大切さを感じていた。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>想像をはるかに超えたすばらしいウォールアート、階段ができあがった。たくさんの方に関わってもらったことで今があることを、身にしみて感じていた。</p> <p>自然に感謝の手紙やリサイクルフラワーのプレゼント、動画づくりなど、自分たちで分担して感謝の気持ちを伝える活動に移行した。</p> <p>不安と、準備が大変で苦労もあったけれども、最高のウォールアートになったと、感動していた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>子どもたちが自然と他学年に教え、すばらしいウォールアート・階段となった。下書きも子どもたちが夕方、プロジェクターでうつしたものをチョークでなぞり、すべて子どもたちの手作りだった。子どもの力はすごいと改めて感じた。気づけば自分たちで動き、すすめ、描き、教え、片づけていた。その姿に成長を感じた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>子どもが問題解決できる材は魅力がたっぷりある。その分、時数をかなりつかってしまった。ウォールアートに加え、リサイクルフラワー、花植えなど、やることが満載となってしまったことが反省点である。材をもう少し絞って活動することが大切。</p>